

Annual Report of Nagoya City Miharashidai Archaeological Museum

名古屋市見晴台考古資料館 **年報**40

2022(令和4)年度事業報告

2023

名古屋市見晴台考古資料館

2022（令和4）年度

I 事業概要

1 展示

（1）本館常設展

「見晴台遺跡展－見晴台で暮らした人々－」

会期：通年

展示日数：296日

利用者数：18,584人

内容：見晴台遺跡について詳しく知ることができるよう、見晴台の歴史を、時代を追って紹介。見晴台で暮らした人々をテーマに、主に衣食住に関する出土品を展示。昭和時代では、笠寺高射砲陣地から見つかったアメリカ軍爆撃機 B29のジュラルミン破片も展示。また、見晴台遺跡第55・56・57次発掘調査で出土した遺物も展示。

展示点数：136点



「見晴台遺跡展－見晴台で暮らした人々－」展示風景

（2）本館常設展「見晴台の守り展」

会期：通年

展示日数：296日

利用者数：18,584人

内容：見晴台遺跡に残る異なった2つの時代（弥生時代・昭和時代）の防御の痕跡を紹介。時代を超えた人類の行動から、歴史を学ぶことを目的とした展示。ジオラマを製作し、視覚的に比較できるようにした。

展示点数：3点



「見晴台の守り展」展示風景

（3）住居跡観察舎パネル展「原始・古代の住居」

会期：通年

展示日数：296日

利用者数：18,584人

内容：原始・古代の建物である竪穴住居や高床倉庫、祭殿などについて、床（生活面）を持ち上げる高床式と、そうではない竪穴式（平地式）の2通りに分けて紹介。それぞれの様式の利点はどこにあるのか、現在見ることができる建物からアプローチした展示。



パネル展「原始・古代の住居」展示風景

（4）住居跡観察舎パネル展

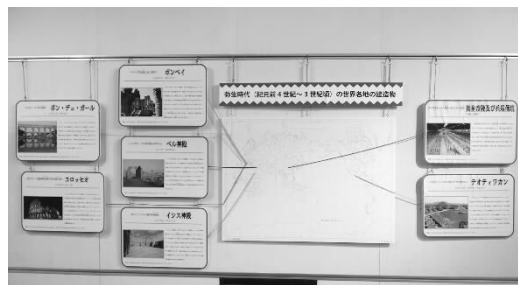
「弥生時代（紀元前4～3世紀頃）の世界各地の建造物」

会期：通年

展示日数：296日

利用者数：18,584人

内容：見晴台に竪穴住居が造られた弥生時代（紀元前4～3世紀頃）の世界各地の建造物をパネルで紹介。



パネル展「弥生時代（紀元前4～3世紀頃）の
世界各地の建造物」展示風景

（5）本館第1回企画展「横穴式石室の世界」

会期：4月27日（水）～6月19日（日）

展示日数：46日

利用者数：3,253人

内容：古墳時代後期に流行した古墳の埋葬施設の一つである横穴式石室から出土した須恵器や鉄刀、馬具などを紹介。

(6) 本館第2回企画展「桜神明社古墳と曽池遺跡」

会期：6月29日（水）～9月19日（月）

展示日数：70日

利用者数：2,983人

内容：南区に所在する桜神明社古墳と曽池遺跡を模型（もけい）を交えて紹介。

(7) 本館第3回企画展「南区の遺跡－春日野学区を中心に－」

会期：9月28日（水）～1月15日（日）

展示日数：87日

利用者数：4,364人

内容：見晴台遺跡を知るうえで手がかりとなる、一春日野地区－の遺跡を中心に紹介。



「南区の遺跡－春日野学区を中心に－」展示風景

(8) 本館第4回企画展「旧石器時代・縄文時代のナゴヤ」

会期：1月21日（土）～3月19日（日）

展示日数：48日

利用者数：4,876人

内容：旧石器時代・縄文時代のナゴヤを土器や石器を交えて紹介。

(9) 本館ロビー展「ぬりえ絵本「しだみちゃんと黄泉の国のひみつ」」

会期：4月27日（水）～6月19日（日）

展示日数：46日

利用者数：3,253人

内容：企画展「横穴式石室の世界」に関連して、「古代人が怖（おそ）れた黄泉の国とは、横穴式石室のことだった！」創作ぬりえ絵本を通じて横穴式石室を紹介。

(10) 本館ロビー展「戦争と平和を考える展」

会期：6月29日（水）～9月19日（月）

展示日数：70日

利用者数：2,983人

内容：名古屋市内の戦争のつめあを写真で紹介。

(11) 本館ロビー展「SDGsの先駆者だった！縄文&江戸時代展」

会期：6月29日（水）～9月19日（月）

展示日数：70日

利用者数：2,983人

内容：縄文時代・江戸時代のエコライフをパネルで紹介。

(12) 本館ロビー展「東海道の一里塚展」

会期：6月29日（水）～9月19日（月）

展示日数：70日

利用者数：2,983人

内容：笠寺一里塚の魅力を探るため、東海道に残る各地の一里塚を写真パネルで紹介。

(13) 本館ロビー展「なごやの城館の楽しみ方展」

会期：9月28日（水）～1月9日（月）

展示日数：82日

利用者数：4,117人

内容：城主と同じ名字の分布から城の歴史を考えた。また、緑区清水寺遺跡（丹下砦）と中区名古屋城三の丸遺跡（那古野城）の出土品を展示。

(14) 本館ロビー展「小さな土器展」

会期：1月15日（日）～2月26日（日）

展示日数：36日

利用者数：3,878人

内容：弥生時代の手のひらにのるほどの小さな土器と、江戸時代の土人形を紹介。

(15) 本館ロビー展「笠寺台地の土地利用の変遷展」

会期：2月15日（水）～3月31日（金）

展示日数：37日

利用者数：3,004人

内容：空中写真と地形図から笠寺台地の変化を紹介。

※本展示は令和5年6月25日（日）まで行うが、令和4年度までの会期・展示日数・利用者数を提示した。

(16) 本館ロビー展「イッピン展」

会期：月毎

展示日数：296日

利用者数：18,584人

内容：名古屋市内の発掘調査で出土した遺物のなかから、一点を選び毎月紹介。

4月：弥生土器 壺

5月：土偶の顔

6月：四頭石斧

7月：人面付土製品

8月：弥生土器

9月：汽車茶瓶

10月：鉄釉陶器葵紋瓦

11月：施釉陶器龍飾り瓦

12月：陶塔

1月：花紋タタキ痕のある古代瓦

2月：鬼の線刻のある古代瓦

3月：土馬

(17) 地域連携「桜田中学校美術展」

会期：1月15日（日）～2月12日（日）

展示日数：24日

利用者数：2,989人

内容：桜田中学校の生徒が制作した美術の優秀作品を展示。

(18) さわってみようコーナー

会期：8月5日（金）～3月31日（金）

展示日数：192日

内容：見晴台遺跡出土の弥生土器片に触れるコーナー。

2 教育普及

(1) 月例映画会

毎月第3土曜日に歴史や文化に関連した映画を上映した。

新型コロナウイルス感染症対策として、参加者に検温などによる事前の体調管理や、必要に応じたマスクの着用・手指消毒をお願いしたほか、席を離しての会場設営と換気を行った。

参加者数：延157人

4月16日 参加者：14人

日本の記録11 「敗戦・廃墟からの出発」

5月21日 参加者：12人

日本の記録12 「星条旗の下での民主化」

6月18日 参加者：16人

日本の記録13 「冷戦構造のはざままで」

7月16日 参加者：12人

日本の記録14 「独立日本」

8月20日 参加者：14人

日本の記録15 「テレビ時代の到来」

9月17日 参加者：17人

日本の記録16 「もはや戦後ではない」

10月15日 参加者：13人

日本の記録17 「神武景気からなべ底不況へ」

11月19日 参加者：16人

日本の記録18 「皇太子ご成婚と60年安保闘争」

12月17日 参加者：11人

日本の記録19 「高度経済成長の幕開け」

1月21日 参加者：14人

日本の記録20 「東京オリンピックひらく」

2月18日 参加者：10人

日本の記録21 「相つぐ航空機事故」

3月18日 参加者：8人

日本の記録22 「激化する大学紛争」

(2) 団体利用（「見晴台遺跡と弥生時代」映画上映や展示解説など）

4月3日 南区年金組合 15人

4月15日 春日野小学校6年生（南区） 61人

4月21日 さくらのもり保育園 15人

4月28日 大生小学校5・6年生（南区） 41人

4月28日 片平小学校3年生（緑区） 96人

5月6日 平子小学校6年生（緑区） 87人

5月6日 呼続小学校6年生（南区） 83人

5月17日 JASSクラブ 79人

5月25日 碧南ガイドG 15人

6月5日 南区の歴史探訪（歩く会） 21人

6月8日 浦里小学校6年生（緑区） 38人

6月9日 正木小学校6年生（中区） 53人

6月9日 桃山小学校6年生（緑区） 90人

6月17日 表山小学校6年生（天白区） 108人

6月19日 ブロッキング 10人

6月21日 笠寺小学校6年生（南区） 88人

7月6日 光城小学校6年生（北区） 88人

7月12日 貴船小学校6年生（名東区） 37人

7月16日 知多世界を楽しむ会 11人

7月27日 桜台高校（夏期講座） 12人

9月30日 山岳ウォーキング会 10人

10月5日 博物館ボランティア 23人

10月15日 ボーイスカウト名古屋第126団カブ隊 15人

10月23日 南区ふれあいまつり 11人

10月23日	NTT OB・OG会	9人
11月2日	天白生涯学習センター	21人
11月4日	上社中学校2年生(名東区)	11人
1月13日	千種区年金者組合	15人
1月17日	千鳥丘中学校1年生(緑区)	2人
1月19日	鯉城学園大学OB	15人
1月27日	はとり中学校2年生(中川区)	10人
1月27日	本城中学校1年生(南区)	9人
2月2日	笠寺幼稚園	18人
2月7日	さくらのもり保育園	18人
2月24日	名古屋市高年大学鯉城学園地域専攻	38人
2月26日	南山大学博物館ボランティア	10人
3月1日	名古屋市高年大学鯉城学園地域専攻	33人
3月10日	デイサービス アイナ	22人
3月26日	瀬戸地下軍需工場を保存する会	15人

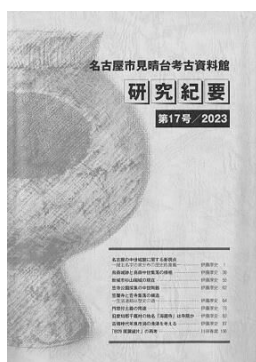
(3) 刊行物

『名古屋市見晴台考古資料館研究紀要第17号』

A4版 124頁 600部

『令和4年度 名古屋市見晴台考古資料館 展示の記録』

A4版 14頁 200部



(4) 講演会

●第1回「桜神明社古墳と曾池遺跡」

期日：8月27日(土)/9月3日(土)

会場：名古屋市見晴台考古資料館

講師：当館学芸員 伊藤厚史

参加者：45名/28名

●第2回「なごやの城館の楽しみ方」

期日：11月26日(土)

会場：名古屋市見晴台考古資料館

講師：当館学芸員 伊藤厚史

参加者：23名

●第3回「旧石器時代・縄文時代のナゴヤ」

期日：2月25日(土)

会場：名古屋市見晴台考古資料館

講師：文化財保護室 水野裕之・瀬瀬茂

参加者：30名



講演会「旧石器時代・縄文時代のナゴヤ」の様子

3 地域連携

(1) 南区民まつり2022

日時：11月13日(日)

会場：日本ガイシスポーツプラザ

主催：南区区民まつり実行委員会

内容：会場にてポスターの掲示とチラシ・パンフレットを配布した。

(2) ウォーキング(遺跡巡り)

●ブラサクラ

期日：11月10日(木)

共催：南区役所地域力推進室

案内：当館学芸員 伊藤厚史

参加者：12名

●ブラサクラ ～旧桜村の遺跡と桜めぐり～

期日：3月29日(水)

共催：南区役所地域力推進室

案内：当館学芸員 伊藤厚史

参加者：22名

Ⅱ 利用状況

1 利用者数など

(1) 展示会別利用者数

会場	展示会名	会期	日数	入場者数	一日平均
本館展示室	常設展「見晴台遺跡展－見晴台で暮らした人々－」	通年	296日	18,584人	63人
	常設展「見晴台の守り展」	通年	296日	18,584人	63人
	第1回企画展「横穴式石室の世界」	4月27日～6月19日	46日	3,253人	75人
	第2回企画展「桜神明社古墳と曽池遺跡」	6月29日～9月19日	70日	2,983人	43人
	第3回企画展「南区の遺跡－春日野学区を中心に－」	9月28日～1月15日	87日	4,364人	54人
	第4回企画展「旧石器時代・縄文時代のナゴヤ」	1月21日～3月19日	48日	4,876人	126人
本館ロビー	イッピン展 ※1	月毎	296日	18,584人	63人
	ぬりえ絵本「しだみちゃんと黄泉の国のひみつ」	4月27日～6月19日	46日	3,253人	75人
	「戦争と平和を考える展」	6月29日～9月19日	70日	2,983人	43人
	「SDGsの先駆者だった！縄文&江戸時代展」	6月29日～9月19日	70日	2,983人	43人
	「東海道の一里塚展」	6月29日～9月19日	70日	2,983人	43人
	「なごやの城館の楽しみ方展」	9月28日～1月9日	82日	4,117人	56人
	「小さな土器展」	1月15日～2月26日	36日	3,878人	163人
	「笠寺台地の土地利用の変遷展」※2	2月15日～3月31日	37日	3,004人	78人
住居跡観察舎	パネル展「原始・古代の住居」	通年	296日	18,584人	63人
	パネル展「弥生時代（紀元前4～3世紀頃）の世界各地の建造物」	通年	296日	18,584人	63人

※1 イッピン展は本館ロビーにて開催。毎月一点を紹介した。

※2 本館ロビー展「笠寺台地の土地利用の変遷展」は令和5年6月25日（日）まで行うが、令和4年度までの会期・展示日数・利用者数を提示した。

(2) 月別利用者数

月	開館日数	入館者数			一日平均	団体	
		高校生以上	中学生以下	計		団体数	人員
	日	人	人	人	人	件	人
4月	25	1,033	891	1,924	77	5	228
5月	25	993	685	1,678	67	4	264
6月	25	993	634	1,627	65	7	408
7月	26	790	364	1,154	44	4	148
8月	25	836	171	1,007	40	0	0
9月	25	894	180	1,074	43	1	10
10月	25	1,082	267	1,349	54	4	58
11月	25	1,064	323	1,387	55	2	32
12月	23	700	159	859	37	0	0
1月	23	2,346	355	2,701	117	5	51
2月	23	1,235	437	1,672	73	4	84
3月	26	1,735	417	2,152	83	3	70
合計	296	13,701	4,883	18,584	63	39	1,353

2 資料の貸出

年間貸出 1件・2点 名古屋市博物館

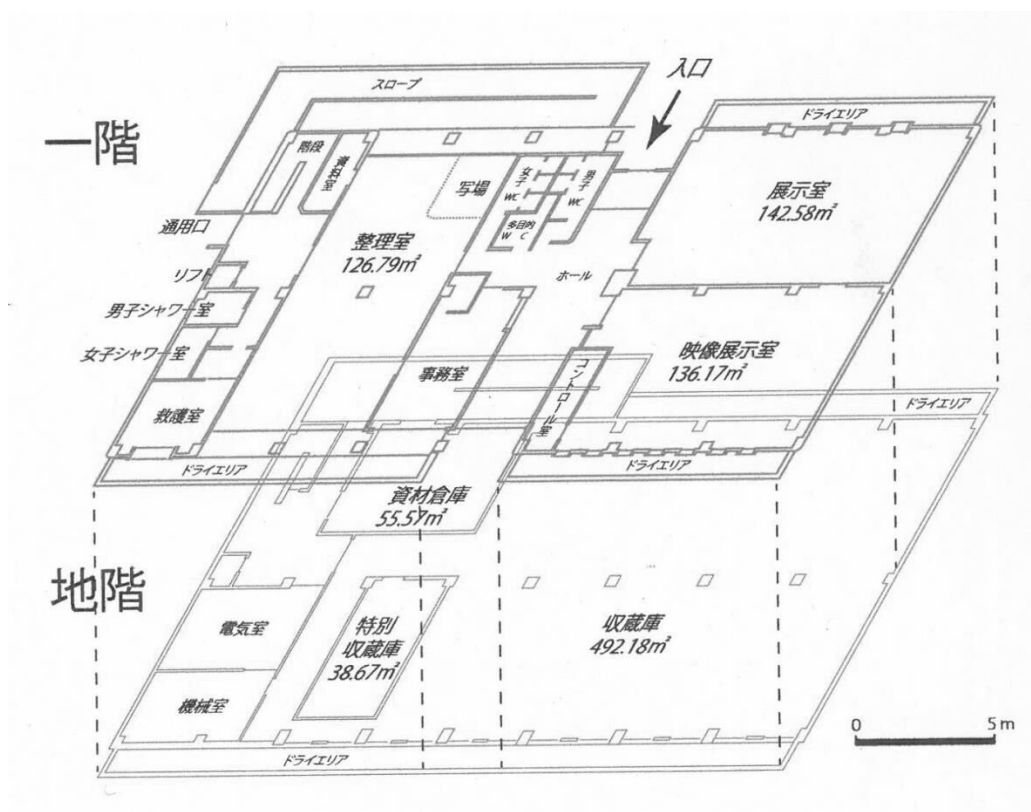
Ⅲ 施設の概要

項 目	内 容
条 例	名古屋市見晴台考古資料館条例（昭和54年7月18日条例39号）
名 称	名古屋市見晴台考古資料館
設 置 場 所	名古屋市南区見晴町47番地（笠寺公園内）
開館年月日	1979（昭和54）年10月11日
博物館登録	1980（昭和55）年1月25日（登録第8号）
建 物	公園使用許可面積1,902㎡

(1) 本館

項 目	内 容
構 造	鉄筋コンクリート造地上1階・地下1階
建築面積	672㎡
延床面積	1,381㎡（1階658㎡、地階699㎡、中2階24㎡） 展示室142.58㎡、映像展示室136.17㎡、収蔵庫492.18㎡、特別収蔵庫38.67㎡

見晴台考古資料館 本館 各室配置図



(2) 分室（西館）

項 目	内 容
構 造	軽量鉄骨造平屋建
建築面積	148㎡
概 要	遺物整理作業展示室として、1996（平成8）年から使用開始。

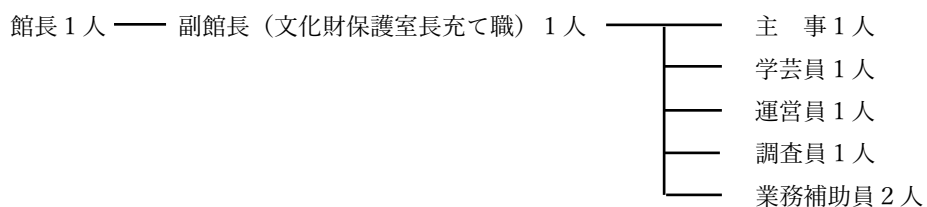
公園内の関連施設

見晴台考古資料館のある笠寺公園は、「遺跡のある公園」として名古屋市緑政土木局によって整備され、遺跡にかかわるいくつかの施設が設置されている。

施設名	概要	構造	備考
住居跡観察舎	発掘調査によって出土した状態が見学できる施設。内部には遺構の型取りによる原寸大の住居跡の複製を設置し、住居跡のうち1軒を推定復元。1988（昭和63）年6月15日公開。	鉄骨造平屋建 面積365㎡	復元住居は経年変化で傾きがひどくなったため、2013（平成25）年10月に取り壊し。2014（平成26）年10月市民参加による「竪穴式住居復元プロジェクト」にて再構築を行った。
濠再現コーナー	資料館南側の弥生時代の濠跡が道路によって寸断されていた地点に、遺構保存のための土留め壁を兼ねて、濠の断面を原寸大に復元。1989（平成元）年4月5日公開。	コンクリート・モルタル・ 表面擬土・アスファルト	濠の大きさは幅およそ5m、深さおよそ4m
弥生の森	弥生時代の生活に関係の深い樹木を、都市緑化の推進と弥生時代の学習に役立てるために植栽。1989（平成元）年4月5日公開。		樹木（141本）の種類はヤマモモ・スダジイなど

IV 組 織

組 織



名古屋市見晴台考古資料館 年報40
2022（令和4）年度事業報告

編集 名古屋市見晴台考古資料館
発行 名古屋市見晴台考古資料館
発行 令和5年10月14日
